

## モニタリング結果報告書

施設 厚木精華園

指定管理者 社会福祉法人かながわ共同会

施設所管課 神奈川県保健福祉局障害福祉

(平成22年度 下半期)

## 管理運営状況総括

## 1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考(確認事項等)
10月	11月9日		月報により業務は概ね良好に行われていることを確認した
11月	12月7日		月報により業務は概ね良好に行われていることを確認した
12月	1月7日		月報により業務は概ね良好に行われていることを確認した
1月	2月6日		月報により業務は概ね良好に行われていることを確認した
2月	3月8日		月報により業務は概ね良好に行われていることを確認した
3月	4月8日		月報により業務は概ね良好に行われていることを確認した

## 2 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

## (1) 提案内容の達成度

A: 提案を上回る  B: 提案どおり  C: 提案を下回る 

## &lt;提案内容の概要&gt;

- 中高齢知的障害者に対する医療的ケアの充実
- 地域生活への移行の推進

## (2) 実施状況等

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績又は今後の見込みを記載する。

## &lt;実施状況&gt;

- 高齢化による嚥下の著しい機能低下が見られる現状の中で、誤嚥事故の防止のため、「救急蘇生セット」の設置及びドクターによるそれら医療器具に関する講習会を実施した。また前期に設置したAEDの活用を想定した利用者緊急時対応訓練を毎月、様々な状況設定の中行った。職員の医療的ケア研修を毎月、看護師を講師として座学を行うとともに、個別利用者に併せて実技研修も実施した。その他、医療的ケア研修(吸引、胃ろう、気管切開等の対応)に活用するため、実技練習用人形(3体)の作成を行なった。
- 中高齢の知的障害者支援を中心に行ってきた厚木精華園では、高齢者であっても本人が地域での生活を望むのであれば、それを実現できるように支援をしてきた。今年度上期に設置したいずみホーム内の体験室を活用し、入所利用者、在宅障害者を対象にケアホームでの生活を体験して貰うとともに、次回ケアホームへ移行する際の参考とした。また中長期計画にもとづき、来年度設置を予定している第12ホームの候補場所の検討を行なった。今後も継続して、利用者の地域生活移行を実現できるように努めて行く。

3 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収 入 額				支出額	収支差額
		指定管理料	利用料金 (前年同月料 金額)	その他収入		
年間予算額	705,160	251,620	432,061	21,479	684,313	20,847
上半期計 (a)	361,411	125,172	222,145 ( 202,847)	14,094	319,438	41,973
下半期計 (b)	366,604	126,448	219,644 ( 219,546)	20,512	376,956	△10,352
10月	60,164	18,578	32,206 ( 37,043)	9,380	52,109	8,055
11月	57,116	18,578	37,004 ( 35,048)	1,534	44,513	12,603
12月	75,275	33,571	38,349 ( 36,948)	3,355	92,888	△17,613
1月	57,911	18,578	37,818 ( 35,807)	1,515	49,518	8,393
2月	54,419	18,578	34,321 ( 34,590)	1,520	54,680	△261
3月	61,719	18,565	39,946 ( 40,110)	3,208	83,248	△21,529
合計 (a+b)	728,015	251,620	441,789	34,606	696,394	31,621

1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。

2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。

・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。

・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

- ・ 全体として、安定した収支状況にある。
- ・ 利用料収入が当初と比べ増額となったのは、利用者の認定区分見直しが主な理由である。
- ・ その他収入が増額となったのは、主に昨年度請求漏れの診療収入が入ったため。（前年度分のため雑収入計上としている）
- ・ 収支差額については、自立支援給付費収入が2ヶ月遅れで入金されることから、次年度当初の運転資金として活用する。

（今期に行った資本的な収入及び支出等の状況）

	内容	金額(千円)
収入の状況		
支出の状況	居室カーテン取替	2,624
	調理器具・ガス乾燥機・テレビ・パソコン・救命救急訓練人形等	5,322
積立等の状況	(期首)	6,000
	(期末)	6,000

収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。

支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。

積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

#### 4 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
上半期計 (a)	589 人	635 人	△7.2%
下半期計 (b)	592 人	622 人	△4.8%
10 月	99 人	103 人	△3.9%
11 月	98 人	104 人	△5.8%
12 月	100 人	104 人	△3.8%
1 月	99 人	103 人	△3.9%
2 月	98 人	103 人	△4.9%
3 月	98 人	105 人	△6.7%
合計(a+b)	1181 人	1257 人	△6.0%

#### 利用状況に関する意見等

〔半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。〕

#### 5 苦情・要望等の状況

(施設受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
10月	0	0	0	0	0	0
11月	0	0	0	0	0	0
12月	0	1	0	0	0	1
1月	0	0	0	0	0	0
2月	0	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	0	0

(施設所管課受付分)

報告月	口頭	文書	合計
10月	0	0	0
11月	0	0	0
12月	0	0	0
1月	0	0	0
2月	0	0	0
3月	0	0	0

#### 6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

〔類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者へ評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。〕

分野	概要	対応状況
施設・設備	・	
	・	
職員対応	・	
	・	
事業内容	・	
	・	
その他	・ 施設利用の契約について	保護者と連絡を取り、理解を得る。
	・	

## 7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、県庁改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

発生日	概要・対応状況等
月 日	特になし

## 8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日			
月 日			

## 9 上（下）半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

指定管理者

今期は掲げていた目標が概ね達成でき、安定した事業を実施することができた。高齢化に伴い、病状の変化が見られ経管栄養等の対応が求められる中、他の社会資源（療養型病院）への移行が必要な場合が少しずつ見られてきている。今後も、家族（保護者）、県、他の関係機関等との連携を図り、対応を行っていきたい。

施設所管課

慢性疾患等を抱え、医療的なケアが必要な中高齢知的障害者を多く支援しているが、職員の研修制度を作るなど、利用者の高齢化や身体機能低下に対する取り組みを積極的に行い、大きな事故等もなく安定した事業を実施できたことは評価できる。  
利用者の体調急変等に素早く対応できるよう、リスク管理の充実や、他の社会資源と協力体制を築き、中高齢知的障害者が安心して生活が送れるよう支援してほしい。